

お客様の家族のテーマを見つけ、一生満足できる暮らしの提案を。



山田 洋介 さん (1977年生まれ)

愛知県立一宮工業高校 出身
中部大学 工学部卒業

株式会社新和建設

北名古屋 市野崎山神 15
<https://www.sinwanet.co.jp>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業 → 建築系の学部がある大学を卒業 → 住宅メーカーまたは工務店に就職 → 住宅展示場に配属

——学生時代

「幼馴染の父親が街の大手さんだったため、子どものころはよく建築現場で遊んでいました。また両親がわたしの名付けをする時に、姓名判断で『棟梁になる名前』と言われたエピソードも。自分でも何となく『将来は家をつくる人になる』と意識していて、工業高校の建築科に進みました」

大学では何を学びましたか？

「より専門的な建築の知識を学ぼうと、中部大学工学部の建築学科へ進学。『美術館の計画』など、オリジナルの図面を描く課題がたくさんありました。テーマごとに実際の建物を見に行ったり書籍で調べたりと、幅広い建築事例を見られた経験は、現在の仕事に生かされています」

——仕事について

「大学卒業後、店舗設計をする会社に就職。さらに人の暮らしや人生に寄り添った建築物に携わりたくなり、現在の住宅会社へ転職しました。最初は建築現場で住宅の知識を深めながら、**1級建築施工管理技士、2級建築士の資格**を取得しました」

住宅営業の仕事内容とは？

「住宅展示場で、家を建てたい方に向けて営業をしています。お客様に寄り添った間取りやライフスタイルの提案をするほか、大工棟梁と直接話せる体感イベントの開催など、当社で家を建てたくなる企画を考えるのも仕事です」

心がけていることは？

「住宅営業は、販売ではなく接客をする仕事です。お客様の夢を叶えるばかりではなく、時には20年、30年先を見据えてご要望に反対することも。建てた後のギャップができる限り少なくなるように、住まいのプロとして対等な目線でアドバイスをしています」

住宅営業の醍醐味とは？

「ヒアリングを重ね、いかにお客様に満足してもらえる提案をできるかが腕の見せどころです。家は建てて終わりではなく、住んでからが始まり。人生で一番高い買い物に立ち会い、一生のお付き合いをさせていただけるのは、この仕事のおもしろさだと思います」

——やりがい

「お客様自身も気づいていなかった希望やニーズと一緒に見つけ、解決へ導けた時にやりがいを感じます。家づくりは、思い描くライフスタイルや夫婦の価値観などを改めて考え、『家族のテーマ』を見つめ直す機会。思い出に残る家づくりをできたらと思います」



——なるためには

「住宅営業は、建物はもちろん、人が好きな人に向いている仕事だと思います。必須の資格はありませんが、大学で建築系の勉強をするに役に立ちますよ。あとは、物事を幅広い着眼点で捉え、課題を見つける癖をつけてみましょう。学生のうちは勉強やスポーツに限らず、興味のあることに片っ端から挑戦を！失敗を恐れずに行動しなげら、やりたいことを見つけていけばいいんです。自分の意見が言える大人を目指して、たくさん経験の積んでみましょう！」

ありがとうございました。



16歳

↓

30歳

↓

34歳

「将来は家をつくる人になる」と漠然と考え、工業高校の建築科に進む。

店舗設計の会社から現在の住宅会社へ転職。建築現場で家づくりを学ぶ。

蟹江展示場に配属され、住宅営業に。住まいのアドバイザーとして活躍。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





めざすはチケット完売！クライアントと一緒にイベントを盛り上げています。

大池 允人 さん (1983 年生まれ)

愛知県立丹羽高校 出身
愛知学院大学 経営学部卒業

チケットぴあ名古屋株式会社

名古屋市東区東桜 2-13-32 ぴあ名古屋ビル
<https://t.pia.jp>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業 → 大学進学 → 大学卒業 → チケット販売会社へ入社

——学生時代

「高校時代には友人と近所の河川敷に座り、ひたすら話していた思い出があります。将来の夢は明確ではありませんでしたが、地元で働きたいとは思っていました。スポーツや音楽が好きで、サッカーの試合やビジュアルバンドのライブに行ったりと、そのころからエンターテインメントは身近なものでした」

大学では何を学びましたか？

「高校の先輩からのすすめもあり、愛知学院大学へ進学しました。経営学部で、世の中のお金の流れや企業経営、マーケティングなどを勉強しました」

——仕事について

「大学卒業後、アパレルの専門商社に入社。デスクワークが多かったのですが、より人と接する仕事がしたいと思うようになり転職することになりました。いろいろな業種を見るなかで『東海地区のエンタメと一緒に盛り上げよう』という言葉に惹かれて、現在の会社に入社を決めました」

仕事内容を教えてください。

「東海エリアのイベントーさんや、スポーツチーム、劇場といった興行主からチケット販売の委託をいただき、イベントと一緒に盛り上げていくのが仕事です。イベント内容からターゲットを想定し、チケットの売り方や告知の方法を提案します。限られた予算内でいかにイベントをPRし、チケットの

完売をめざせるかが勝負です」

イベントのPR方法とは？

「年輩の方向けの歌謡ショーなら、チケット販売は電話受付、告知は新聞や折込チラシに。バンドのライブならSNSの投稿に力を入れるなど、ターゲットに合わせた手法を考えます。ある劇場では、チケット販売ウェブサイトの立ち上げから関わらせてもらいました」

今後の目標はありますか？

「販売成果を数値で分析すること、力を入れてるので、今後はさらにマーケティングを意識した適切な提案をめざしたいです」

——やりがい

「担当したチケットがよく売れて、イベントが成功した時はうれしく、やりがいを感じます。イベント当日、『ここにいる何割の人はチケットぴあで購入してくれたんだ』と感動します。新型コロナウイルスによりイベント業界は大きな打撃を受けていますが、入場者数の制限やオンライン展開などで工夫しながら、安心・安全なエンタメの形と一緒に探っていけたらと思います」



——なるためには

「この仕事に向いているのは、音楽や演劇、スポーツ観戦などのエンタメが好きで、人と接することが好きな人だと思います。学生のうちから部活動などのスポーツをしておくと、厳しさやチームワークを学ぶ機会になるでしょう。いろいろなことに向き合う時『自分の将来にとって、どのような意味があるだろう』と考えられるといいかもしれません。あとは、とにかく友人との時間を大切に！貴重な学生生活を思いっきり楽しんでもください！」

ありがとうございました。



自分史

16歳

人生初のコンサートへ。エンタメの魅力を知る。

27歳

現在の会社へ転職。先輩の下で仕事を覚え、徐々に担当を引き継ぐ。

36歳

名古屋市内の劇場がメインクライアント。多い時は30公演を同時に担当。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



踊れる喜びが、生徒さん自身を輝かせる。
ダンスはわたしの生きる道です。



及川 乃奈 さん (1981年生まれ)

愛知県立西春高校 出身
愛知教育大学 教育学部卒業

Studio Sept.

春日井市高蔵寺町北4-1-15 高蔵寺ファーストビル4F
http://sept.main.jp

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→専門学校やダンススクール、独学などでダンススキルを身につける→ダンサーとして経験を積み→ダンススクールに就職もしくは独立してダンスインストラクターに

— 学生時代 —

「幼いころはスポーツ少年団に所属し、バレーやバドミントン、水泳などの運動に打ち込んでいました。教師をしていた父の影響もあり、将来の夢は学校の先生。何事もこつこつ努力して取り組むタイプだったので、勉強に限らず、できない人の気持ちになって何かを教えるのは得意でした。中高生の中からヒップホップダンスにあこがれていたものの、身近には習う場所がなく、ダンスの経験はありませんでした」

大学では何を学びましたか？
「愛知教育大学教育学部の国際文化コースで、欧米諸国の祭りや建築物などの文化、言語について幅広く学びました。当初は教師をめざしていたのですが、留学先のニューヨークで現地の自由な教育にふれたことで、夢（やりたい事）の方向性が大きく変わりました。そして帰国後、以前からずっとあこがれていたヒップホップダンスを始めました」

— 仕事について —

「大学卒業後は、飲食店の社員や派遣で事務の仕事などをする傍ら、合間を縫ってダンサーの活動も続けていました。クラブで踊るほか、オーディションを受けてイベントのバックダンサーも経験。ダンススキルとともに少しずつ横のつながりも広がり、知人からの誘いを受けてダンススタジオの講師の仕事も始めました」

仕事内容を教えてください。
「2年前に自分のスタジオをオープンしました。スタジオ経営とインストラクター業を兼任し、レッスンでは3歳〜50代まで幅広い生徒さんを受け持っています。地域のイベントに関わったり、ダンスを通してできる活動にも積極的に取り組んでいます」

大切にしていることは？
「生徒さんによって、動きを真似るのが得意な人もいれば、理論から入るタイプの人も。一人ひとりの性格や習得スタイルを見極め、教え方を工夫しています。『それではダメ』でなく『こうするといいよ』と伝えるなど、ダンスを好きになり、楽しく続けたいくなるレッスンをめざしています」

やりがい
「生徒さんが踊れるようになって喜んでくれたり、子どもたちが手紙をくれたりと、自分が必要とされている瞬間を感じられることが生きがいです。自分が生まれ育ったこの地域で、アットホームで居心地のいいスタジオをつくってきたいです」

— なるためには —

「ダンスインストラクターになるには、ダンススキルはもちろん、教える能力もかなり必要です。自分の可能性を広げるために、学生のうちから、年代を問わず様々な業界の人と接点を持ち、いろいろな話を聞く機会や自分の想いを発信する機会を多くもってみたい。チャンスはいっぱい訪れるから、限らず準備をして万全の状態になつておくことが大事です。わくわくする気持ちを大切に、自分らしい道を歩んでくださいな！」



20歳

大学在学中にNY留学へ。帰国後にダンスを始め、クラブなどで踊り始める。

25歳

知人からの誘いで、ダンス講師の仕事スタート。

36歳

地元でスタジオを開業。スタジオ経営者兼インストラクターになる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



目に見えない人の思いや欲求などを
拾い上げてカタチを与える。

石黒 泰司 さん(1988年生まれ)

滝高校 出身
東京理科大学 大学院理工学研究科建築学専攻修了

ambientdesigns

名古屋市中央区新栄2-1-41 奥村ビル
https://ambientdesigns.jp

なるためには

●必要資格 / 一級建築士 ※建築事務所を設立する際には必要
●主な進路 / 高校卒業→大学で建築について学ぶ→実務経験
を積み、一級建築士を取得→独立して建築設計事務所を設立

——学生時代

「高校生活は楽しかったのですが、どこかで息苦しさやモヤモヤした感情も抱いていました。縛られたくない、自由でいたいという思いが強かったんだと思います。建築家を志したのも、自由で楽しそうというイメージがあったからです」

そのイメージはどっから?

「幼稚園のとき、お父さんが設計士をしている友達の家へ遊びに行ったのですが、田舎ではめずらしい、ビルみたいなフラットな3階建ての家だったんです。家は2階建てで瓦屋根で...という固定概念をもっていたので、『こんな発想ができる大人がいるんだ!』と子供ながらにびっくりしたことを覚えています」

大学時代について教えてください。

「図面の描き方などの技術や構造の知識はもちろん学びますが、建物を作るうえで重要な建築家としての思想や哲学を学んだことが印象に残っています。定期的に出される課題も『楽しい建築』『自由な建築』といったテーマが与えられ、『楽しいとは何か?』『自由とは?』を考えると、それを建物に落とし込むというものの常識を一回疑って自分の常識を再設定し、そこからアイデアを出す発想力が鍛えられたと思います」

——仕事について

「設計事務所に3年半勤務し、独立してアンビエントデザインズを設立しました。建築家の仕事は、言葉にできない人の思いや欲求など、目に見えないモノを拾い上げてカタ



計画と雰囲気(2019) | 介護老人保健施設の改修プロジェクト

チを与えることです。たとえば、介護施設の改修をしたときも『介護施設とは何か?』というところから考えました。理事長がもっている、『施設ではなく、生活をする場所でありたい』という思い。現場からの、デザインを重視して死角ができると入居者を管理しにくいという声。どちらかに寄せ過ぎず、規制や運用の問題を達成する『計画』と、生活の場をつくる『雰囲気』をバラレルに設計して、両方の質が同居する空間をめざしました」

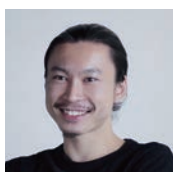
——やりがい

「いろんな人に出会えることがやりがいのひとつです。病院を作れば医師と、飲食店を作れば料理人と、住宅なら生活をする人と。本当にいろんな人と出会えます。おもしろいのが、みんな普通に見えて普通じゃない(笑)。それぞれの個性、それぞれの当たり前があるんです。新しい発見もありますし、自分の選択肢が広がっていくことも楽しいです」

——なるためには

「建築事務所を設立するには、国家資格である**建築士**が必要です。わたしは一級建築士を取得していますが、二級建築士でも問題ありません。一級と二級では対応できる業務に違いがあります。高校時代は、自分で物事を考える習慣を身につけてほしいです。自分では当たり前だと思っていることも、実は人それぞれだったりします。学校で先生が言っていたからとか、テレビやネットで見ただからとか、それを根拠にするのではなく、自分のスタンダードを自分で発見できるようにしてください!」

ありがとうございます。



自分
の
実
績

18歳 建築家をめざし、東京理科大学の建築学科に進学。

22歳 建築家として思想や哲学を学ぶ。大学での学びが、現在の基盤に。

28歳 設計事務所に3年半勤めたのち、独立して「ambientdesigns」を設立。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



快適な走り心地と安全を、
見えないところで守っています。

安全も何れも
優先する!

岸上 嵩史 さん(1990年生まれ)

愛知県立一宮工業高校 出身

中日本ハイウェイ・エンジニアリング
名古屋株式会社

名古屋市中区錦1-8-11 DPスクエア錦
https://www.c-nexco-hen.jp

なるためには

●必要資格 / 普通自動車免許、土木施工管理技士(入社後に取得)
●主な進路 / 高校卒業→土木工学・環境学系の大学を卒業→高
速道路保全会社に就職→点検・補修の現場経験を積み→社内研
修の部署に異動

——学生時代

「小学校から高校まで野球部に所
属し、部活一筋の毎日でした。厳し
い練習のおかげで、体力と精神力
が鍛えられたと思います。進路に
ついては、中学卒業前のタイミン
グで両親と相談して、高卒で就職
する道を選ぶことに。工業高校の
土木科に進み、測量の仕方や小型
建設機械の運転など実践的な勉
強をしました。景気に左右されに
く、長く安定して働ける土木関
連の仕事をめざしていました」

——仕事について

「高校にきた求人がきつかけで、
道路の保全点検をする現在の会社
に入社しました。最初は道路事務所
に配属され、黄バトと呼ばれる道路
点検車に乗って、高速道路の路面や
ガードレールなどの変状を発見す
る仕事を担当。その後、補修工事の
業務や、親会社であるNEXCO中
日本へ2度の出向(※)を経て、現在
の能力・人財開発部に異動となり
ました。現場で在職中に**2級土木施
工管理技士**の資格を取得しました。
1級土木施工管理技士の取得もめ
ざしています」

現在の仕事内容は?

「新入社員から課長、所長まで、階
層別で実施している社内研修の企
画、調整をしています。外部講師の
方たちに登壇を依頼し、役職や年
次に見合った研修内容を相談。現
在はほぼすべての研修をオンライン
で行っているの、実際に配信
に立ち合い、パソコン操作などを



担当しています」

工夫していることは?

「新型コロナウイルスの影響で集
まれていなかった新入社員のた
めに、オンラインでコミュニケーション
を深めるため自己紹介の場
をつくりました。今後の研修を通
して、直接会えなくても同期のつ
ながりや社員の士気を高められた
らいいなと思います」

出向時代のことを教えてください。

「NEXCO中日本では、補修工事
の5か年計画を組んだり、数億円に
ものばる予算の管理をしたりと、主
に補修計画の総括に携わりました。
集中工事、夜間通行止めなどの大規
模な工事は、約1年前から計画され
ているんです。それにともなう警察
との協議も私の仕事でした」

やりがい

「高速道路には信号がなく、また私
たちが絶えず点検・補修を行って
いることで、一般道よりもずっと
安全な道路だと自信をもっていま
す。現在は社内研修で間接的にで
はありますが、皆さんの快適なド
ライブを陰で支えられていること
に誇りを感じます」

——なるためには

「高速道路事業にかかわる仕事は、
物事を広い視野で捉えられる人
が向いていると思います。点検や
工事などは、自分の意見をしっか
りと主張できる力も必要となるで
しょう。専門知識は入社後に学べ
ますが、専門学校や大学で土木工
学や環境学の基礎を身につけて
おく役立ちます。学生時代には、
部活動でも何でもよいので、ひと
つのことを続けてみてください。
何かひとつのことを継続した経験
が、社会に出た時に強みと自信に
なるはずです!」

ありがとうございました。



自分
史

15歳

↓

18歳

↓

29歳

将来に直結する勉強をするため、工
業高校で土木の基礎を学ぶ。

現在の会社に入社。高速道路事務
所で点検・補修の現場経験を積む。

2度目の出向。20代にして、彦根事務
所を総括する役職に抜擢される。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





指令を受けたら1分以内に出勤！
心と体を鍛え続け、最善の救助を。

金丸 祐樹 さん(1989年生まれ)
愛知県立江南高校 出身

犬山市消防本部

犬山市大字五郎丸字下前田1
<https://www.city.inuyama.aichi.jp/shisetsu/koukyoshisetsu/1001638/1001639.html>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→専門学校の公務員対策コースまたは4年制大学に進学→地方公務員試験に合格→各自治体の消防本部に配属

——学生時代

「小学校から中学卒業まで空手教室に通っていました。空手を通して学んだことは『練習は裏切らない』ということ。日々の鍛錬は厳しいものでしたが、頑張った分だけ大会で成果が出る達成感がありました。最終的に初段まで取得できました」

どのように進路を決めましたか？

「高校で開かれた説明会で、高卒でも公務員試験を受けられると知り、挑戦してみたくまりました。そのなかで消防士をめざしたのは、体を動かす職種の方が自分に合っていると思ったからです。『市民の味方』というイメージであこがれもありました。まわりが大学受験の勉強に励むなか、わたしは公務員試験の対策をしていました」

——仕事について

「公務員試験に合格後、消防学校で半年間の研修を経て、最初は出張所で主に救急活動に携わりました。その後、現在の本署に異動し、消防・救助活動の担当になりました」

仕事内容を教えてください。

「火災や事故現場で消火活動・人命救助活動を行います。指令を受けたら原則として1分以内に出勤。現在は消防士長として、現場の状況を判断し、隊員に指示を出す役目です。出勤以外の時間は、火災現場を想定した訓練のほか、市内の消防設備の保全などに関する事務仕事などを行っています」

特に印象に残っていることは？

「水難事故の現場や、東日本大震災での救助活動では、『もつとできることがあったんじゃないか』と自分の無力さを痛感することがありました。どんな状況でも最善の救助ができるように、潜水士や船舶免許、クレーン運転士の資格を取得するなど、常に努力を続けています」

消防士にとって大切なことは？

「精神的、肉体的に強い時でも、へこたれない忍耐力が問われる仕事です。24時間勤務の交代制は、慣れるまで大変かもしれませんが、一度の勤務時間が長い分、まとまった休みをとりやすいメリットもあります。家族との時間を多くとれていますよ」

——やりがい

「市民の方々は、困った時に119番をしてくれれます。その声にきちんと応えることが我々の使命であり、やりがいだと思っています。日々の仕事に取り組んでいます。救助活動を通して、『ご本人やご家族に』『ありがとう』と言われた時は、それまでの苦労が吹き飛びます」

——なるためには

「消防士になるには、地方公務員試験の消防官の枠に合格する必要があります。試験には、学科試験と体力試験があるので、日頃から体力づくりをしておきましょう。消防士の仕事は、チームで一緒に取り組む仕事なので、スポーツなどチームプレーの経験があるといいですよ。最近では、女性消防士も少しずつ増えています。『人の役に立ちたい』という気持ちがある人は、ぜひ挑戦してみてください！」

お忙しいところ、ありがとうございます。



自分史

17歳 高校での説明会がきっかけで、卒業後は消防士になりたいと決意する。

18歳 公務員試験に合格。消防学校での研修後、出張所で主に救急活動を担当。

26歳 本署へ異動し、火災救助がメインに。体力面、知識面で常に向上をめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



日本から世界、世界から日本へ。
輸出入のすべてを幅広くサポート。

為せば成る!

沖田 晋知 さん(1983年生まれ)

春日丘高校(※現・中部大学春日丘高校) 出身
愛知大学 現代中国学部卒業

名港海運株式会社

名古屋市港区入船2-4-6
https://www.meiko-trans.co.jp

なるためには

- 必要資格 / 通関士・語学系資格 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→大学に入学→物流会社に入社→通関士の資格を取得→営業部に配属

——学生時代

「小学校ではサッカーとソフトボール、中学では陸上とバスケ、高校ではゴルフ部に所属するなど、学生時代はたくさんさんのスポーツに挑戦していました。当時の将来の夢は、旅行会社のツアーコンダクターになること。グローバル化という言葉が流行した時代で、何となく海外へのあこがれがありました」

大学では何を学びましたか？

「その当時、中国がWTO(世界貿易機関)に正式加盟し『これからは中国の時代が来る』と言われていたこともあり、愛知大学の現代中国学部へ進学しました。1年次には中国語の基礎を学んだ後、授業の一環で学部全員が4か月間の短期留学を経験。言葉が通じない洗礼を受けながらも、初めての海外生活は楽しく刺激がいっぱいでした。その後、さらなる上達をめざして大学を休学し、長期の留学へ。1年間、中国語しか使わない環境に身を置き、中国語の難解な発音には声がかれるくらい練習しました。その甲斐あって、専門的な会話ができるレベルまで上達。HSK(中国語試験)で当時最上級の7級を取得できました」

——仕事について

「中国語のスキルを生かせる職種を検討する中で、物流業の大切さを知り、現在の会社に入社。最初はスーパーバイザー(管理者)として、船に貨物を積卸するための作業計画書の作成、現場立会いの仕事に従事しました」

仕事内容を教えてください。

「物を輸出入する際、お客様に代わって税関へ申告手続きを行う通関士の業務に加え、納期やコストに応じて輸送・梱包方法の提案から手配までをコーディネートする仕事です。輸出する国によって関税の仕組み、物流の形態は異なるので現地の法律に基づいた知識とノウハウが必要になります。8年半、上海の現地法人で駐在員として働き、現在は主に海外現地法人への営業支援、運営管理に携わっています」

駐在員時代の思い出は？

「業務の品質・サービスを保証する世界規格のISO9001を取得するため、半年以上かけて、自社のノウハウと仕組みを中国語で文書化しました。また、プライベートでは休日を利用してよく国内外の旅行に出掛けました。駐在員は最前線の仕事に奮闘しているイメージがあるかもしれませんが、公私のワークバランスを保つことも重要です」

——やりがい

「どんな物も、必要な人のもとに運ばれて初めて価値が生まれます」



20歳

↓

29歳

↓

37歳

中国で1年間の留学を経験。将来は中国語を生かせる仕事を志す。

スーパーバイザー、国際物流の仕事を経て、上海の現地法人で駐在員として働く。

駐在を終え、本社の国際部へ異動。営業支援と管理業務の経験を積む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



す。物流サービスの一端を担い、お客様の信頼を得ながら、成果をあげられることに喜びを感じています」

——なるためには

「通関士の資格は入社後に取得できますが、国際物流の仕事をしたいなら語学力は必須です。大学で外国語を学ぶか、留学するのもおすすめです。学生のうちから、漠然とでもいいので将来やりたいことを考えておきましょう。日頃から新聞の社説などを読んでおくのも、視野が広がっていくと思いますよ」

ありがとうございました。

おいしく楽しく健康に。
食を通して、人を笑顔にできたら。



長谷川 怜美さん(1996年生まれ)

愛知県立春日井南高校 出身
名古屋女子大学 家政学部卒業

株式会社ストロークホールディングス

西春日井郡豊山町豊場伊勢山366
http://www.kk-stroke.jp

なるためには

- 必要資格 / 管理栄養士
- 主な進路 / 高校卒業→栄養学を学べる大学を卒業→管理栄養士の資格を取得→病院や学校、介護施設、食品メーカーに就職

——学生時代

「幼いころから母と一緒にお菓子づくりをしたり、レシピの本を読むのが好きだったりと、食は身近な存在でした。管理栄養士としていた叔母の影響もあり、高校で文理選択をした時には、大学で栄養学を勉強したい気持ちがありました。もともと食べるのも料理するのも好きだったことに加え、資格をとって手に職をつけたいという思いもありました」

大学では何を学びましたか？

「名古屋女子大学家政学部の食物栄養学科(※)で、食と栄養の知識を幅広く学びました。調理実習のほか、消化の仕組みを生理学・医学的な視点から勉強したり、病院での実習も経験。卒業後に**管理栄養士**の資格を取得しました」

——仕事について

「管理栄養士の資格をもっている、病院での栄養指導や学校給食のサポート、食品メーカーの献立作成など、幅広い活躍の場があります。私は学生時代からアルバイトをしていたドラッグストアで管理栄養士を募集しているのを知り、大学卒業後はそこに就職しました。しかし、より管理栄養士として食にかかわる仕事をしたくなってきたので、転職を決意。地元を中心に20〜30社をまわり、併当事業のコンサルティングや介護施設への給食提供、メニュー開発などをトータルに手掛けている現在の会社に入社しました」

仕事内容を教えてください。

「併当事業の献立作成のほか、クライアントの社内で行う栄養指導のセミナー、栄養プログラムのメニュー監修など、栄養バランスに配慮した食全般のアドバイザー的な仕事をしています。今年から、冷凍食品の商品開発にコンセプト提案から携わったり、商品を使ったアレンジレシピ動画の企画・制作も担当しています」

気をつけていることは？

「テレビやSNSで『これを食べると健康になる』と話題になると、翌日、スーパーからその食材が消えていることも。たくさん情報があふれている今、自分でもリサーチや勉強を続けつつ、管理栄養士として専門的な立場からアドバイスできたいと思います」

——やりがい

「管理栄養士は、食を通して人を幸せにできる仕事だと思っています。栄養指導や食生活のアドバイスによって、誰かに喜んでもらえたり、人の役に立てた時は、とてもうれしく、やりがいを感じます」



——なるためには

「大学の家政学部や管理栄養学科に進学し、管理栄養士の国家資格取得を目指しましょう。料理が得意でなくても、食に興味があり、人と話すのが好きな明るい性格の人なら向いている仕事だと思います。また、栄養価などの細かい計算に向き合う必要があるのも、意外と我慢強さも問われます。学生のうちには、自分から積極的に外に出て、たくさんコミュニケーションに参加してみてください。限られた時間を有意義に過ごしてくださいね！」

ありがとうございました。



自分
栄養

17歳



22歳



24歳

高校の文理選択をきっかけに、将来は管理栄養士になろうと決意する。

管理栄養士の資格をより生かすため、現在の会社へ転職。

食と栄養のアドバイザーとして活躍中。さらなるスキルアップをめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

